



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年7月5日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

戦後75年企画 「記者清六の戦争」 7日(火)から=1面、社会面



太平洋戦争末期、激戦地だったフィリピン山中の洞窟で、ガリ版刷りの新聞「神州毎日」が発行されていました。取材を担ったのは毎日新聞記者だった伊藤清六。

東北の農村に生まれ「格差のない社会を」と農政記者を志した清六は戦場で何を伝えたのか。戦後75年の夏、偶然同じ職業に就いた親族の40代記者がその生涯を追

い、「戦争と報道」の現実に迫る長編企画です。

写真：記者・伊藤清六が亡くなったとみられるフィリピン・マニラ東方のヤシ林=2020年3月11日、伊藤絵理子撮影

2020年甲子園高校野球交流試合 組み合わせ抽選会 9日(木)=1面、社会面、運動面

新型コロナウイルス感染拡大で中止になった第92回選抜高校野球大会の出場32校が阪神甲子園球場=写真=に招かれ、8月10日から各1試合ずつを戦う「2020年甲子園高校野

球交流試合」。各主将がオンラインで参加して行われる組み合わせ抽選会では、どんな対戦が組まれるのか注目です。対戦カードとともに、試合の見どころや主将たちの意気込みを

お伝えします。



米・黒人暴行死の背景

米国の黒人男性ジョージ・フロイドさんが取り締まり中の白人警官の首を押しつぶした事件、人種差別を根絶する公的権法を制

なる黒人住区差別政策が一因とす。竹沢泰子教授は、人文科学研究所で、さしやう。京都大で、差別的な研究は、統領まで誕生しな

7日(火) II オピニオン面

指摘します。

写真：数千人が参加したジョージ・フロイドさんの追悼式 II 米ニューヨークで2020年6月4日、隅俊之撮影

特集ワイド コロナ検査最新事情 10日(金) =夕刊特集ワイド

新型コロナウイルスの検査体制が徐々に強化されつつあります。「PCR検査」(遺伝子検査)や「抗原検査」、唾液による検査までも条件付きで可能になりました。一方、経済活動の再開に伴い、

無症状の人が健康チェックのために自費で検査を受ける動きもあります。各種検査を扱うグローバルヘルスケアクリニック(東京)院長で、輸入感染症や渡航医学が専門の水野泰孝医師(51)に

コロナ検査の最新事情取材しました。



プロ野球が開幕して2週間余りが経ちました。現状は無観客開催と寂しくもありますが、中継を見てみると打球音や選手の声などが聞こえ、従来のプロ野球中継では聞こえることがなかった音が新たな魅力として感じられるようになりました。毎朝何気なく読んでいない新聞もまだ気配りもしていない魅力があるかもしれません。現在、毎日新聞@宣伝部(毎日新聞の知られざる魅力を伝えていければと思います。)